

『EMメソッド (EMM)』…は、手技療法健悠館 渡部靖彦が独自に開発した、
ノンタッチの『エネルギー療法』です！

EMメソッド (EMM) は…相手の方の身体に一切触れることなく、あるいはほとんど触れることなく、
様々な痛み、不調を改善方向に導いていける可能性があります！！

相手の身体に一切触れることなく、様々な痛み、不調を改善に導く、EMメソッド (EMM)
…**Energy Maintain Method**…

は、私のこれまでの経験則、そして私の主観と思ひ込み (?) の集大成…として、先ずは第一段階の完成となり
ました。

私はずっと以前から、人間の身体を何層もの多重構造で覆っている、エ
ネルギー体 (エネルギー・フィールド) の存在に、確信を持っていました。
その道の専門家の方なら「そんな事は当たり前…」と思われるでしょう
が、とりあえず、私も過去の経験則から、その存在に、確信を持っていま
した。

とは言っても、私に『人のオーラが見える。』などと言った特殊能力があ
る訳ではありませんし、気功やヨガなどの、特殊な修行をしたような経験
もありません。

ありませんが、この仕事を始めてから、人間の身体を何層もの多重構造
で覆っているエネルギー体 (エネルギー・フィールド) の存在を、感じ取
る事は出来ていたと思っています。

具体的には、相手の方の身体を取り巻く空間のバイブレーション (振動)
の有無やその質を、私自身の手や、身体で感じ取ることが出来ていま
し、痛みや不調で来て下さる方々のエネルギー・フィールドに、
その方固有の、私に違和感を感じさせるバイブレーションがあり、その方
の痛みや不調が改善するにつれて、それが軽減・消失したり、また消失しなくても、私の主観で、穏やかな、
調和の取れたものに変化していく事にも気づいていました。

そして、様々な文献を紐解いたり、数多くのセミナー等に参加する中で、

『物理的な肉体レベルの痛み・不調は、あくまでも結果であり、そこに至るまでの前段階として、必ず
人間の身体を何層もの多重構造で覆っているエネルギー体 (エネルギー・フィールド) に、ほころび、
損傷、不調和が起こっている…。』と言う考え方を初めて知りました。

その時、それまで自分自信が漠然と考えていた様々な事が、パチッ！と一瞬で一つに繋がりと、統合された感
があり、それ以降、お客様に気づかれたり、不審に思われたりしないように気をつけながら、こっそりと、そ
の方のエネルギー・フィールドの、ほころび、損傷、不調和を感じ取りつつ、それを自分なりの方法で、手探
り状態で修復していく事を、戸惑いながらも続けていました。

そんな中、3年ほど前に来て下さった、ある若い女性との出会いによって、一つの転機が訪れました。

この女性は、幼少期から今日に至るまでの長期に亘り、日常生活に支障を来すほどの、原因不明の強烈な不調に苦しんで来られた方で、お母さんも、遠方の様々な医療機関に、この女性を連れて通い詰めるなど、全身全霊をあげて、彼女をサポートし続けていたのですが、いく先々の医療機関で、それぞれ異なる診断が下される上に、それに基づく、様々な治療も全くと言ってもいいほど、効果が出ていませんでした…。

しかしそんな中、彼女が自力で私のホームページを見つけて、訪ねて来て下さったのです。様々な症状で苦しんでいらっしやったのですが、私が把握している範囲で言えば、一番彼女を苦しめていたのは、

- 自力で立ち上がることも、歩くことも出来なくなるほどの、尋常ではない強度の全身疲労。
- 全身の至るところにあらわれる、不規則な強度の痛み。
- 発症パターンも発症サイクルもつかみきれない、発作の様にかかる、全身的・局所的な震え・痙攣。

などでした。

あと、症状との因果関係は定かではありませんが、彼女は相当に敏感な体質の方で、幼い頃から今日に至っても、人の身体から出たり、人の身体を取り巻いたりする、いわゆる『オーラ』が見えますし、壁に掛かっている絵画の、会ったこともないその作者の怒りの感情をキャッチして怯えるなど、非常に繊細な感性の持ち主でもあり、この事もまた彼女を苦しめる原因の一つとなっていたようです…。

=====
それはともかくとして、私のところで施術を開始した初期の頃は、頭蓋・内臓を中心とした内容で取り組み、ほどなく小康状態が保て、それなりに症状が安定する時期もあらわれるようにはなっていました。しかし…。

=====
やはりコンディションが、突然ドンッと落ちるサイクルに入ってしまった時は、大変苦しい状況を只々凌ぐ…と言う毎が続いていたのです。

そんな中でのある日、お母さんから、出張での施術のご依頼がありました。お話によれば、久しぶりに強烈な痙攣が起り困っている…との事でした。お伺いしたところ、自力で歩けない状態で、お母さんに抱きかかえられながら入って来ましたが、目も開けかねているようで、人相も変わっているほどの状態です…。

どうにか仰向けに寝てもらいましたが、腹部を中心に、波打つような痙攣がみられ、表現は不適切かも知れませんが、まるで何かに『憑依(ひょうい)』されているのではないか…！？』とさえ思えるほどの、様相を呈していました。

その症状の辛さで、状態を聞いても十分に受け答えもできない様でしたので、とりあえず、頭部に触れようと考え、頭のとっぺん付近に、私の手をゆっくりと慎重に近づけようとしたところ、まだ頭に触れていないのにもかかわらず、彼女が苦悶の表情を浮かべるのです…。

『えっ！？』と思って、何度かそれを繰り返してみましたが、全て同じ結果になり、私が彼女の頭にそっと手を近づけようとするだけで、彼女が苦しむのです。これを見て私は、

『身体には触れる事ができない…。ひょっとして、これはエネルギー・フィールドの問題じゃないのか…！？』
だとしたら身体に触ることに意味はないッ！！』

と思い、迷わず彼女の身体を何層もの多重構造で覆っているエネルギー体(エネルギー・フィールド)の調整を行うことにしました。

=====

とは言うものの、当時の私は、まだエネルギー・フィールドの調整に対する、確固たる施術体系を確立する事など出来ておらず、その瞬間、しゅんかん…ほとんど即興の様な感じで、何の根拠もなく、感性の赴くままに、思いつきの方法で、とりあえずはエネルギー・フィールドの調整をやっていた…と言う程度のレベルでした。

ところがこの時ばかりは勝手に違って、不思議な事に、苦しんでいる彼女を前にして、まるで何かが降りて来たかの様に、半分は自分の意志、あとの半分は自分ではない何者かの意志のようなものによって、強制的にスイッチを入れられたかのように、また、彼女を包むエネルギー・フィールドを整えるかの様に、自分の手が複雑なパターンで、器用に動き始めるのです。

『俺は一体何をしているのだろう…！？』とか、『いや…でもこれは多分上手く行くかもッ！？』と言ったような、相反する思考を交錯させつつも、かまわず続けました。



しばらくすると、彼女の苦悶の表情が少しずつ、和らいで来るのが分かりましたので、内心冷や汗をかく思いをしながら、しかし確信めいたものも感じつつ、継続すること約40分…。最終的に彼女の痙攣がとまり、全身が弛緩した事が確認できたので終了しました。彼女自身も

『とても楽になりました。』

と言うので、そのまま仰向けで休んでもらっている間に、彼女に背を向けた形でお母さんと話しをしていたのですが、ふと見ると、彼女が正座をしてニコニコ笑っているのです。施術前とは打って変わって、顔の表情筋もリフトアップし、とても美しい顔になっていたのには驚きました。

お母さんから、『娘のこの症状が出た時に、医療機関で改善出来たことは今まで一度もなく、数日かけて、只々自然に落ち着くのを待つしかなかった…。数十分のわずかな時間で、ここまで改善したのは、初めてだった…。』と言うことを教えていただきました。

症状が取れて楽になった彼女からも、いろいろ情報をいただいたのですが、その内容を要約すると、とにかくこの症状がピークの時には、身体中に鬱滞したエネルギーの様なものがパンパンに溜まり、身体から追い出したくても、どうにもできない状態で、苦しくてたまらないらしいのです。

正にその状態のピークの時に、今回私が行ったエネルギー・フィールドの調整が、たまたま功を奏した結果にはなりましたが、私も無我夢中だったため、一体自分が何を思って、彼女に対して何をどうしたのかが、今一つ整理し切れていない、消化不良の様な、何ともスッキリとしない気持ちが強く残りました。

=====

ただ、振り返ってみると、やはり私も彼女の身体の中から、何か不要な物を取り出そうと、必死になっていたようには思いました。それは目には見えないけれど、確実に有ると感じられるものを、まるで

浮き出させたり／挟み出したり／巻き取ったり／搔き出したり／
吸い出したり／断ち切ったり／握りつぶしたり／振り払ったり…。

するような手の動きです。もちろん私が、その最中に冷静にいちいちそんな事を分析していたり、認識してい

た訳でもありません…。なので後から、

『あの時、自分は何を思って、何のために、何をしていたのか…！？』と言う事について、何だかんだと、いろいろ思い出しながら整理する事を試みたのです。もちろん、この時のたった一回の施術の経験だけで、全てが整理出来た訳ではありません…。

彼女にとっては大変な事ではあったのですが、その後も何度か彼女自身が同じ様な状況になってしまうことがあり、その度に繰り返しエネルギー・フィールドの施術に取り組み、その中で彼女にアドバイスをもらいながら、少しずつ私自身が何をしているのかを、整理し理解して行ったのです。

そしてこのようなプロセスを経る中で、彼女からの助言をもらいつつ、まず第一段階の、EMメソッド (EMM) の施術方法についての、現時点で最善・最適と思われる、フローチャートをまとめ上げることができました。

=====

この彼女との毎回のセッションは、私にとっては大変貴重な経験となりました。彼女が、施術をしている私自身を、実に具体的に、巧みにガイドしてくれるのです。例えば…彼女の体内に滞留している過剰なエネルギーを私の手でとらえて、取り出そうとした時なども、その取り出す瞬間の状況を彼女に聞くと、

『そのやり方だと、手の離れ際にエネルギーが身体の中に逆戻りしてくる…。』とか、『そのエネルギーの抜き方は、ちょっときつい…。』など、私の施術について、リアルタイムで、私の独力では到底理解することのできない、超感覚的でデリケートな部分について、極めて具体的なアドバイスをしてくれるのです。

このようなやり取りを繰り返す中で、私の独自のエネルギー療法、『EMメソッド (EMM)』の、第一段階の体系化が成されました。

=====

次に、やらなければならなかったのは、このEMメソッド (EMM) の再現性…。即ち、私以外の別の人々が、このEMメソッド (EMM) を他の人に用いても、『同じ様な結果を出せるのかどうか…！？』と言う事をシビアに検証し、その再現性を実証する事でした…。

=====

ところがこれについては、意外と早く好機に恵まれる事になりました。彼女からご予約をいただいていたある日、ご自宅まで伺ったところ、『今日はできれば母の施術もお願いします。』と言われたのです。

お話を伺ってみると、お母さんご自身が腰痛で、なかなか日常の動作ができかねている…との事でした。そこで私は、何気なしに、『今日は一緒にお母さんの施術をしてみませんか…！？』と彼女に提案し、2人で一緒に私が独自にまとめ上げた、『EMメソッド (EMM)』で、お母さんの腰痛を治してみる事にしました。

=====

それは、私にとってある意味実験的な試みでもあり、腰の痛みを訴えている彼女のお母さんに対して、腰はもちろんの事、お母さんの体に指一本触れることなく、彼女自身が、私が独自にまとめ上げた、『EMメソッド (EMM)』によって、お母さんの腰の痛みを取り除いてみようとするものでした。そしてその結果は、非常に興味深いものとなりました。

=====

早速『EMメソッド (EMM)』の、現時点で最善・最適と思われるフローチャートに基づいて、私の口頭での指示のみによって、彼女がそのとおりに、お母さんの腰痛解消のための施術を始めましたが、驚きました…。

彼女は先天的に、人のエネルギーの不調和を目で見、感覚的にも感じられる素質があるだけに、驚くほどの見事な手さばきで、私が独自に開発した、『EMメソッド (EMM)』のフローチャートに忠実な施術を進めていくことができています。

そのおかげで、結果的にお母さんは、この一回の彼女の施術で、その腰痛のピークを乗り越え、不自由なく動けるレベルにまで改善しました。もちろん彼女も私も、お母さんの身体には、指一本触れていません。これは私以外の他の人が、この『EMメソッド (EMM)』を用いても、その効果を発揮することができるという事を証明できた、最初の出来事となりました。

しかし、こと『再現性』と言うことになると、たったこの一件の、この出来事だけをもってして、その有効性を証明することはできない…。と言う事も重々承知してはおりますので、今後もあらゆる機会を通して、この『EMメソッド (EMM)』の再現性を高めて行く取り組みを、継続していきたいと考えております。

=====

私が開発した、このEMメソッド (EMM) に、理論はありません…。

ですので、今後の展開は分かりませんが、『EMメソッド (EMM)』においては、今のところ理論、理屈はほとんどないのです。

現時点において、こだわり、追求すべきは『法則』であると考えています。

理論は、人それぞれに、何からでも理屈をこね回して、独自につくり上げる事が出来ますが、その理論は、それを信じている人にしか作用しません。その一方で、

法則は、人がつくる事は絶対にできません。

なぜなら法則は、宇宙やこの自然界に元々存在している物だからです。例えば…

- ◆物体は下に向かって落下していく…。
- ◆水は高い方から低い方へ流れていく…。

などがそれで、このような元々存在している法則は、その人が信じていようが、信じていまいが、誰にも等しく確実に作用しますし、人間がつくりあげた理論で、自然界の法則を変えたり、つくり出したりする事も出来ません。このことは、彼女の『これは何かの憑依ではないのか…！？』と思えるほどの強烈な症状を、40分程度の施術で改善したときのことを振り返ってみても、そう言えます。

=====

彼女の例を通して言えば…何らかの理由で、体の中に鬱滞したエネルギーがパンパンに溜まってしまって、それを自力で抜く事が出来ないままに、強烈な辛い症状で苦しんでいる彼女に対して、『EMメソッド (EMM)』の手法に基づいて、体内に鬱滞した過剰なエネルギーを、

浮き出させたり／挟み出したり／巻き取ったり／搔き出したり／吸い出したり／断ち切ったり／握りつぶしたり／振り払ったり…すると、理由は不明ですが、なぜかその辛い症状が改善できたのです…。

なぜそのような結果が出せたのか…！？と言う事についての理論的根拠は、今のところ全くありませんし、私もそれについて、誰もが納得するような形で説明するだけの能力は、現時点ではありません…。ありませんが、ただ…。

=====

ただ…『こうすれば、こうなった!』という、厳然たる事実だけは残っています。ですので私は、『人間の身体とは、そもそもその様になっているものなのだ。』と素直に認め、この事実を疑うことなく、『法則』として捉えることにしました。

=====

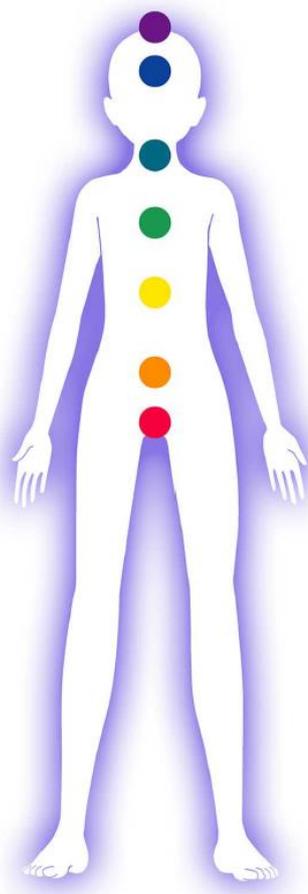
ご希望の方には、この『法則』であるEMメソッド (EMM) …Energy Maintain Method をご指導いたします。受講料等の詳細は、お問い合わせ下さい。

=====

EMメソッド (EMM) …Energy Maintain Method を学ぶためのカリキュラムは、現時点では次の5つの要素によって構成されています。

1. Mode setting (モード設定)

相手の方のエネルギー・フィールドのバイブレーション (振動) の異常を感じ取ることが出来る身体になるための、自分自身に対するモード設定の仕方を、4つの手順を通して学びます。



2. Reading (リーディング)

正しい『モード設定』ののちに、実際に相手の方のエネルギー・フィールドのバイブレーション (振動) の異常を感じ取る方法と、相手の方にとって最適な、『空間エネルギー』をキャッチする方法を学びます。

3. Chelation (キレーション)

身体の中に蓄積され、その症状の原因となっている可能性のある、鬱滞したエネルギーを、取り除くための10の手法を学びます。『キレーション』とは、本来は身体の中に溜まってしまった、有害重金属等を、体外に排出させるための治療を意味しますが、エネルギー・レベルでの解毒と言う意味合いで、『EMメソッド (EMM)』においても、『キレーション』と表現しています。

4. Energy adjustment (エネルギーアジャストメント) …エネルギー調整

『キレーション』によって、エネルギー・レベルでの解毒を終えたのちに、相手の方の身体の中での、生体エネルギーの循環を活発にしたり、相手の方にとって最適な『空間エネルギー』をキャッチして注入するための、4つの手法を学びます。またこの手法は、通常の『キレーション』のテクニックでは解毒が困難な場合に、更に解毒作用を高めるために使用する事もできます。

5. Option (オプション)

オプションとして、人間の身体を何層もの多重構造で覆っている、エネルギー体 (エネルギー・フィールド) のバイブレーション (振動) の異常を、現時点で感覚的にうまくとらえることが出来ない方のために、『ビギナー用のフローチャート』も作成いたしました。手の感覚がまだ十分に磨かれていない場合でも、このフローチャートに従って、主要な臓器等への『キレーション』と『エネルギー調整』を継続的に行う事により、実際に効果を上げながら、手の感覚を磨いて行くためのトレーニングが、効率良く行えます。

=====

受講をご希望の方は、お問い合わせ下さい。

手技療法 健悠館

渡部靖彦

TEL 090-4334-8053

メール hiko37623762@ezweb.ne.jp

ホームページURL

<http://kenyuu.okoshi-yasu.com/index.html>

エキテン掲載ページ

https://s.ekiten.jp/shop_5999209/

=====

EMメソッド (EMM)

…**E**nergy **M**aintain **M**ethod

…**To maintain the energy in human body**